

後期学校評価アンケート結果

雨水の候、平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。後期学校評価アンケートを実施につきましては、お忙しい中、保護者の皆様には、ご協力いただき誠にありがとうございました。アンケートは集計結果をもとに分析をしました。

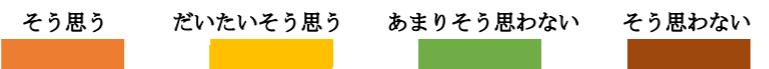


学校教育目標
ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、誇りに思い、自らの志を高め、未来に向けて大いに学び育つ子どもの育成
～なりたい自分とよりよい社会の実現のために～

めざす生徒像

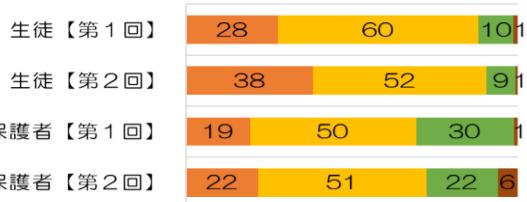
- 習得した知識・技能を活用し、探究心をもって問題解決に向けて主体的に取り組むことができる生徒
- 確かな学力を身に付け、自己実現に向けて粘り強く努力することができる生徒
- ふるさと京北を愛し、豊かな人間性・市民性・自尊感情を有し、地域創生に働きかけることができる生徒

◎グラフについて



学校全体について

1.自分の目標（めあて）を決めそれに向かって活動していますか



前期アンケート同様、学校全体にかかる項目を3つ設定しました。学習活動のやりがいや学校生活の楽しさにつながるかを振り返りました。

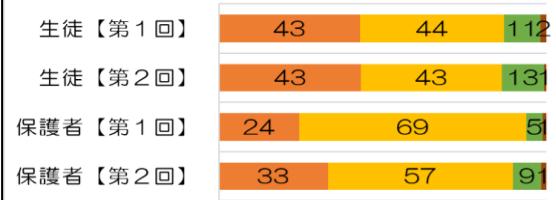
「1. 自分の目標を決め、それに向かって活動していますか」「2. 色々な学校の取組は自分の役に立っていますか」では約9割の生徒が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答していました。

2学期以降は学校行事も多く、具体的なめあてを決めたり、活動計画を立てたりすることが「1」の項目について上昇がみられました。普段の学習、学校行事でこれからもめあてを明確にして取組を進めていきます。

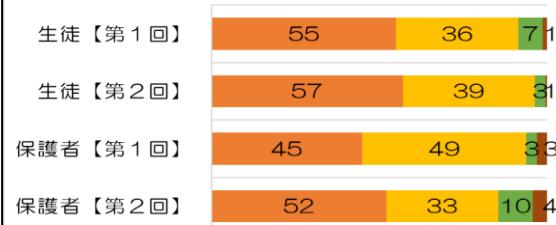
「3. 学校は楽しいですか」の生徒の「そう思う」「大体そう思う」の回答は96ポイントと前回を上回る結果となりました。学校で友達と過ごしていることが楽しいという生徒の声も耳にします。

一方「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した生徒の中には、人間関係や学習状況などが影響したり、コロナ禍においての制限が緩和されたことによってできることが増えてきたことへの大変さを感じたりしているのかもしれません。全教職員は、日ごろから生徒との関係を築き、温かく見守り、時には一人ひとりの課題や困りに気付く努力をしていかなければならぬと考えています。保護者の皆様には、どんな小さな変化でも気になりましたら、学校にご相談ください。学校と保護者の皆様と連携しながら生徒に寄り添っていきたいと思います。

2.色々な学校の取組（行事も含む）は自分の役に立っていますか



3.学校は楽しいですか



令和4年度
京都市立京都京北小中学校
校長 上原 誠
〒601-0251 京都市右京区周山町中山51
TEL 075-852-1133 FAX 075-852-1144

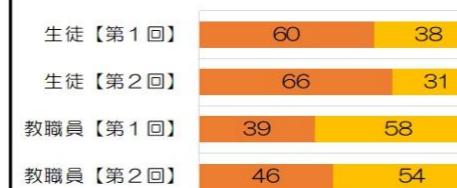


確かに学力の育成

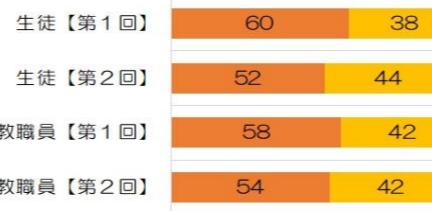
4.授業中、先生や友達の話をしっかりと聞いていますか



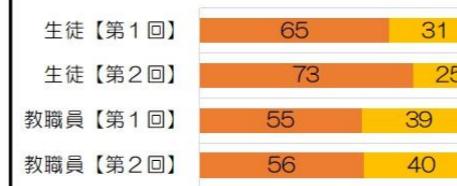
23.友達と協力して学習することができますか



5.授業はわかりやすいですか



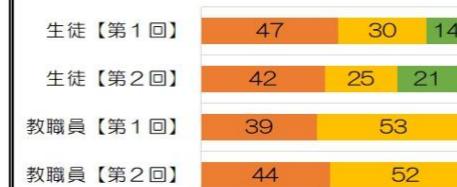
24.授業中タブレットなど使って、学習することができますか



6.授業などで自分の意見を周りにわかりやすく伝えていますか



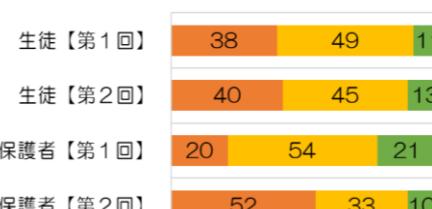
25.いつでも読書できるように、読書中の本を持っていますか



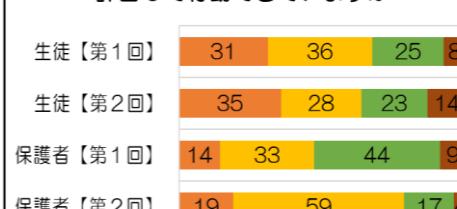
まとめをしたりしています。しかし今年度のアンケートの結果から次のような点に注意して授業改善に努めていかなければならないとも考えています。

- ・主体的に学習問題に向かえるように、課題を明確にしているか。
 - ・得た情報を友達との学習活動を通して分析し、生徒の「分かった」につながっているか。
 - ・学習したことをまとめたり、発表したりするアウトプットする場が確保されているか。 等
- 今後も確かな学力の育成につながるような授業づくりを目指していきたいと思います。

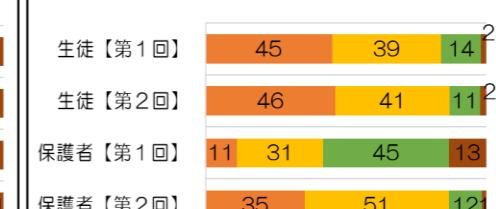
7.難しい課題でも、すぐにあきらめずにねばり強く取り組んでいますか



8.Kノートや予定表などを使って、計画して行動できますか



9.宿題や自主学習など、家庭学習がしっかりとできていますか



「8. Kノートや予定表などを使って、計画して行動できますか」で、生徒の「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は前回と比べると若干下回っていますが、保護者の回答は前回の結果を大きく上回っています。前回のアンケート後、計画的な学習ができるようKノートの使い方について再度確認をしました。5、6年生も後期課程に向けてスケジュールを自分で管理する力が付くように声かけを続けていきます。

「9. 宿題や自主学習など、家庭学習がしっかりとできていますか」でも保護者の「そう思う」「だいたいそう思う」の回答は前回より大きく上回っています。学校での指導とご家庭での励ましのお声掛けが効果的に生徒に伝わっているのではないかと思います。「7. 難しい課題でもすぐにあきらめずにねばり強く取り組んでいますか」の保護者と教職員の「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が若干上昇しています。教職員は授業や部活動で、保護者の皆様は家庭学習などの様子を評価していただいているのだと思います。

宿題や自主学習などの家庭学習が習慣化されるように学年に応じて学習の仕方を指導していきますので、引き続きご家庭でも見守っていただければと思います。

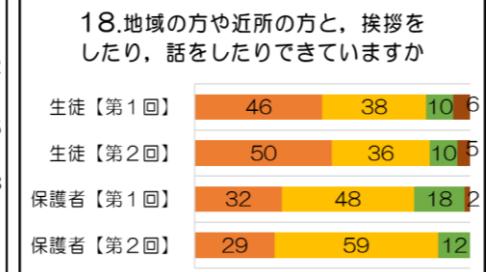
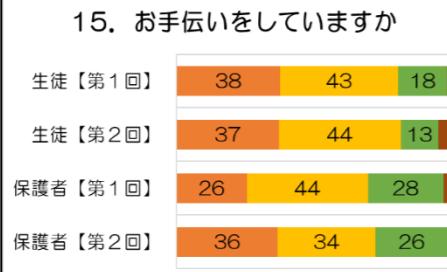
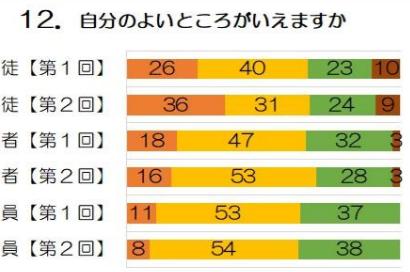
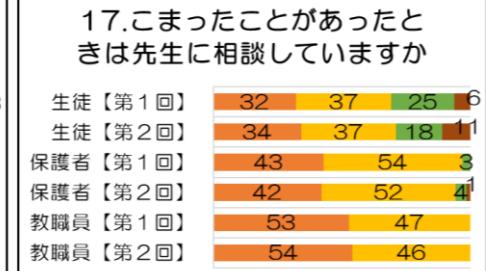
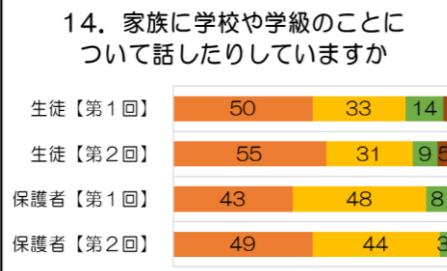
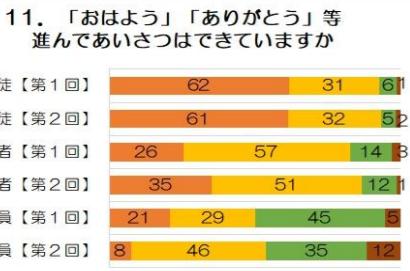
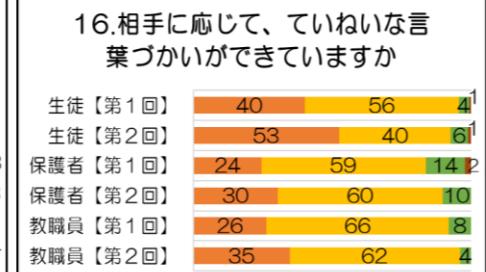
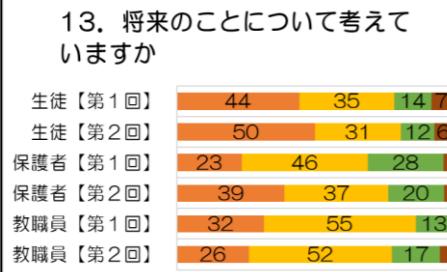
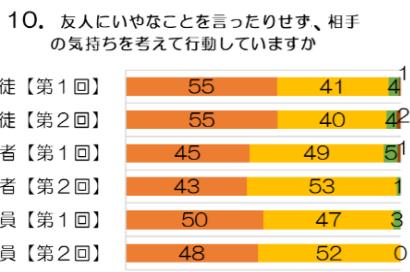
「4. 授業中、先生や友達の話をしっかりと聞いていますか」と「5. 授業はわかりやすいですか」の質問では前回を下回る結果となりました。

また、「6. 授業などで自分の意見を周りにわかりやすく伝えていますか」では、「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が生徒・教職員で約30%となっています。

年度の後半になると学習も難しくなることから「4」「5」「6」のような結果になったのではないかと考えています。しかしながら「23」や「24」の結果を見ると「そう思う」と前回の回答よりも上回っている状況もあります。

学校は生徒がめあてをもって学習活動を進められるように授業計画を立てています。話し合い活動やグループでの学習も効果的に取り入れたり、タブレットを活用して調べ学習や考え方

豊かな心の育成



「10. 友人にいやなことを言ったりせず、相手の気持ちを考えて行動していますか」の項目では、生徒、保護者、教職員の9割以上で「そう思う」「だいたいそう思う」と回答しています。引き続き、よい人間関係を形成していく、協力して学校生活が送れるように見守っていきたいと思います。

「11. おはよう、ありがとう等のあいさつができますか」の項目については、保護者で若干ではありますが、「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が上がっています。しかし、生徒や保護者と比べ教職員の「そう思う」「だいたいそう思う」の回答が低い傾向にあります。そのことは、教職員が「あいさつは指導課題である」ととらえていると考えてるからです。生徒たちの中には、しっかりと聞こえる声、ほっとするような笑顔での挨拶ができている姿も見られますので、そのような挨拶が全校に広がっていくように、まずは教職員から生徒とのコミュニケーションの第一歩として気持ちのよい挨拶を心がけていきます。

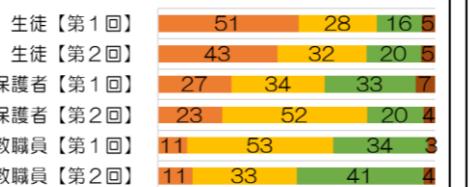
「12. 自分の良いところが言えますか」では、生徒、保護者、教職員ともにあまり変わっていません。時にはきびしく指導することもありますが、生徒一人一人それぞれの「よさ」を認め、わかりやすい形で伝えていかなければならぬと思います。「10」「16」の項目からわかるように、友達のことを思いやることや、礼儀正しさは京北の子どもたちのすばらしさです。今後も生徒の良いところを伝えていきたいです。

「17. こまったことがありますときは先生に相談していますか」の質問に生徒では「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計が29%ありました。保護者においても4%あります。一方、教職員の回答を見てみると「そう思う」「だいたいそう思う」が100%になっています。この結果を大変重く受け止めております。なぜなら、教職員は生徒の困り等の相談を受けられていると思っているけれども、生徒にとっては十分に相談できていないといふことになるからです。生徒によっては、相談しにくい内容や、どう相談していいかわからないこともあるかもしれません。学校は、定期的に教育相談「あのねタイム」やいじめアンケートで個別の聞き取り等を行っています。それだけではなく、何気ない会話や関りを増やし、普段からの信頼関係を深め、生徒の小さな変化や困りも見過ごさないように努めています。

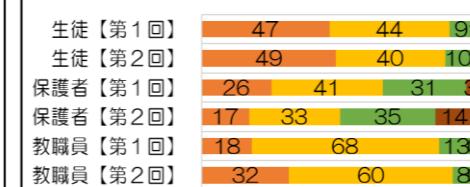
ご家庭でもお気付きの事や心配なことがありましたら、相談していただき学校と家庭が連携して手を取り合っていきたいと思います。

健やかな体の育成

19. 外遊び、スポーツなどでよく体を動かしていますか



21. 好き嫌いをせず感謝して食事をしていますか



20. 「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣が身に付いていますか



22. 交通ルールを守って安全に登校できていますか



「19. 外遊び、スポーツなどでよく体を動かしていますか」では生徒、保護者、教職員の「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答が一定数あります。とりわけ教職員は45%と他の評価項目と比較しても否定的な回答が多く、生徒の運動の様子について課題意識を持っていることが言えると思います。現在、1ステージではジャンプアップタイムも継続し、子どもたちにも浸透し、行なった運動や遊びが休み時間や

放課後にも自分たちでできるようにしていきたいと思います。また、昼休みには体育館の開放も行っていますが、自由記述で体力面に関わるご意見もありましたので、積極的に声かけをしたり、運動の機会を増やしたりするようになります。

「20. 早寝、早起き、朝ごはんの習慣が身についていますか」では、前回と同じく、生徒は8割以上ができると回答しています。生徒自身が健康のことを考えた行動ができるようになるまでは、学校や家庭でのサポートや環境づくりが大切になります。学校では引き続き、けんこうの日や長期休業明けの生活調べなど子どもたちの生活が振り返るようにし、規則正しい生活の大切さを伝えていきますので、早寝、早起き、朝ごはんの習慣については、ご家庭でもお声掛けしていただければありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

◎自由記述について

自由記述については行事や学習指導に関わることについての改善策や不十分さについてご意見やご指摘をいただきました。また、教職員間の情報共有や連携についても、課題や改善方法のご意見をいただきました。これらのご意見を、教職員一同で受け止め、検討し、今後の学校運営に活かしていきたいと思っております。たくさんのご意見ありがとうございました。

◎学校運営協議会より

多くの生徒は学校が楽しいと感じていることが分かりました。挨拶について、教職員のアンケートでは課題があるとの結果が出していました。「あいさつ運動」で見ていると、声や動きで挨拶をしていると分かる生徒もいましたが、マスクをしていることもあります、挨拶していると分かりづらい生徒もいました。生徒自分が「挨拶をしている」と思っているならば、それで良いのではないかと思っています。生徒がより良い学校生活を送れるように、挨拶をはじめ、生徒の頑張りを後押しできる取組を学校運営協議会としても続けていきます。

そして、学校へ行きづらさを感じている子どもについての話もありました。学校が生徒一人一人の安心できる場所となるよう、学校運営委員会としても、協力していきたいと思います。

